

(第2号様式)

桜特第 1395 号
令和5年 3月 1日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立桜野特別支援学校
校長 幸地 英之
(公印省略)

令和4年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和5年2月10日付け教県第1995号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和4年7月12日(火) 10:00~12:00	場所	本校校長室	出席 状況	学校評議員4名
第2回	日時	令和4年12月13日 (火)10:00~12:00	場所	本校校長室	出席 状況	学校評議員4名
第3回	日時	令和5年2月28日(火) 10:00~12:00	場所	本校校長室	出席 状況	学校評議員3名

2 学校評議員に求めた事項

・学校の活動報告等を行い、その上で本校の課題について、指導・助言をいただいた。

第1回 授業見学・学校経営方針・スクールポリシー・教育活動報告(各学部)

第2回 教育活動報告(各学部)・支援部の取組・PTA活動の取組・保健概要

令和4年度学校評価の集計結果提示

第3回 教育活動報告(各学部)・進路指導の取組・令和4年度学校評価の結果および考察
次年度の取組

3 学校評議員の意見

- ・卒業後、生活リズムが崩れて事業所等の継続利用が難しい方がいる。
- ・車いすユーザーの方の元へ行き、直接話を聞ける機会を持つことは大事。
- ・自立活動や教科指導など、学校での指導や取組等のアピールをもっと保護者にしっかり伝える必要性。
- ・重度の子が自分の身体を他の人へ委ねることを教育課程の中でどう育てていくか。
- ・中学部で卒業後を意識したが、それでは遅い。進路講話など小学部から保護者の参加を促したい。
- ・療育センターでも慢性的な人材不足が続いている。事業所が復活できない。人材不足の解消法を検討中
- ・顔見知りの先輩、卒業生からの話ややっていることを見せることが在校生には響く。
- ・保護者が考える自立活動と教師が考える自立活動の違いについて

4 学校運営に反映した事項

- ・地域との関わり、交流学习や校外学習の年間計画
- ・継続的な進路指導とPTAとの連携
- ・自立活動の研修(教材・体・ICT等)及び外部関係機関との連携
- ・保護者同士の関わり(保護者ゆんたく会)

5 課題その他

- ・保護者への進路情報提供および卒業後の居場所、受け皿がない親の不安
- ・重度重複児童生徒の教育課程検討
- ・学校教育についての情報発信の方法について
- ・立地条件が不利な場所にある学校なので、地域にどう関わり、児童生徒を知ってもらう工夫が必要